

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

180

地場産業振興事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	2	歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		通商産業振興費	
	大事業		通商産業振興事業	
	中事業		地場産業振興事業	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	谷 昌樹 435-1233
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	本市の各工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで、本市地場産業の振興を図る。		本市の各工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで、本市地場産業の振興を図る。		
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 地場産業振興センター跡地の整備を行う。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 「和歌山市のものづくり」の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 「和歌山市のものづくり」の管理に要する経費を負担する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	15,636	15,092	17,284	14,519	12,648	9,284	7,291	0	7,291	0
伸び率(%)	6%	△4.4%	10.5%	△3.8%	△26.8%	△36.1%	△42.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,699	4,833	4,778	3,902	4,810	11,558	11,558	0	11,558
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	8,699	4,833	4,778	3,902	4,810	11,558	11,558	0	11,558
国庫支出金	0	0	0	705	3,230	3,126	247	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	1,100	0	0	0	0	0	0	0
その他	325	763	366	259	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	15,311	14,329	15,818	13,555	9,418	6,158	7,044	0	7,291	0
所要人数(人)	正規職員	1.08	0.60	0.60	0.49	0.62	1.49	1.49	0.00	1.49
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料6,460千円、負担金補助及び交付金5,850千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	工業団体が行う各種展示会開催・出展数	事業	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	7	2	4		
			達成度(%)	87.5%	25%	50%	%	
成果指標	粗付加価値額(工業統計調査)	億円	目標値	5981	6041	6101	6162	6223
			実績値	6095	6056	6056		
			達成度(%)	101.9%	100.2%	99.2%	%	
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>新型コロナウイルスによる影響が続くなか、展示会の開催、出展等を実施した工業団体に対して補助を行うことで、国内外のバイヤーや一般消費者に対して新たな販路開拓や当市地場産業をPRすることができた。</p> <p>展示会への出展を継続することで、当市企業や製品の認知度向上が期待され販路拡大にも繋がることから、今後も販路開拓や人材育成の分野についても支援が必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>引き続き国内外での展示会や出展を行い、販路開拓を図るとともに和歌山ブランドの育成にも寄与する。</p> <p>今後、より効果的な販路開拓を図ることができる展示会への出展やその支援方法についても検討していく。</p> <p>また、人材育成には時間を要するため中長期にわたり支援を行っていく。</p>